

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	江南区魅力発信プロジェクト 【事業費予算1,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 江南区をPRできるイベント等を契機に、江南区のさらなる魅力発信や自治協議会の認知度向上につなげる。</p> <p>【概要】 ・江南区親善大使キャラクター等を活用し、江南区や区自治協議会のPRを図る。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◎江南区親善大使を活用した特産品・自治協のPR ・当初予定していた大規模イベント等でのブース出展によるPRについては、新型コロナウイルスの影響でイベントそのものが中止になるなど実施に至らなかったため、江南区親善大使を活用した啓発グッズを制作し、区の特産品や自治協のPRに努めた。</p> <p>【マスク貼付け用シール】 ・日常的にマスクを着用しなければいけない環境のため、明るい気持ちで出歩けるようマスクに貼付けられる親善大使キャラクターシールを制作した。 作成枚数:5,000枚 活用方法:区内の保育園児に配布(約3,000部)、その他小規模イベント時に配布</p> <p>【車両貼付け用マグネット】 ・特産品PRを目的に、区バス・住民バスや公用車に貼り付ける親善大使キャラクターのマグネットを制作した。</p> <p>◎その他 ・公共交通に関する見識を深めるため、専門家による講演会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により実施に至らなかった。 ・大江山地区・両川地区において新たな移動手段による試験運行も実施される中、今後も区内の生活交通改善に向けて部会として検討する必要があることから、8期委員への申し送り事項をまとめた。</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>【江南区親善大使を活用した特産品・自治協のPR】 ○マスク貼付け用シールについては、親善大使キャラクターを活用することで子ども達に親しみのあるものにすることができた。 ○シール配布と併せ、作成した趣旨や特産品を紹介するチラシを保護者に配布することで、自治協のPRと親子で区の特産品を学ぶきっかけづくりに寄与できた。 ○江南区親善大使の活用は、さらなる区の特産品のPRにつながることから、今後も様々な媒体において積極的に親善大使を活用した啓発を行う必要がある。</p> <p>【その他】 ○公共交通に関する取り組みについては、思うように検討が進まず成果をあげることができなかった。8期でスムーズに検討が行えるよう改善に向けた主要検討事項をまとめたことから、8期ではより具体的な検討・対策を行う必要がある。 ○コミュニティ協議会や区自治協議会の認知度は、まだまだ低いことから、次年度も江南区親善大使などを活用した広報・啓発を継続する必要がある。</p>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p><b>【目的】</b> 災害発生時などにおいて、具体的にどのような備えが役に立つか、どのような対応が必要かを習得してもらうため、PR活動等を実施する。 また、子どもから大人まで「支え合い」「助け合い」を考えるきっかけを作り、誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指す。</p> <p><b>【概要】</b> ・区役所だより「こうなん」に防災Q&amp;Aコーナーを不定期連載 ・区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付 ・江南区親善大使ペーパークラフトを作成</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>&lt;区役所だより「こうなん」に防災Q&amp;Aコーナーを不定期連載&gt; 区役所だより「こうなん」に自治協委員が普段疑問に思っている防災に関する質問をQ&amp;A形式で不定期連載した。 ○掲載号: 4/5、4/19、5/3、5/17、6/7、6/21、7/5、7/19、8/16、10/4、11/1、12/6、12/20、1/17、2/21、3/21(全16回) ○内容等: 避難時には何を携えていけばいいのか、避難所と避難場所は違うのか、・・・など</p> <p>&lt;区内小学校新1年生に助け合い絵本の配付&gt; 当部会で平成30年度に作成した「支え合いの絵本「みんなにここに」を区内6小学校の新1年生全員に配付した。</p> <p>&lt;江南区親善大使ペーパークラフトを作成&gt; コロナ禍で増える「おうち時間」に家族で楽しめる江南区親善大使のペーパークラフトを作成した。家族のふれあいの時間の創出や子どもたちの遊び道具として活用された。 ○難易度: 小学校高学年レベル ○作成キャラクター: 藤五郎じい、高ナシ係長、十全さん、スイートくん、姫ちゃん</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○2万部以上の発行がある区役所だよりに掲載することで、効率的にPRできた。来年度以降も継続し、江南区全体の防災意識向上と防災力の強化に寄与したい。</p> <p>○支え合いの絵本を通じて、地域ごとに読み聞かせが行われるなどの動きがみられるようになった。</p> <p>○子どもたちが親善大使を知ってもらうことで大人への波及効果がみられた。</p>
備考	今年度の区自治協委員研修会では、防災をテーマに中越地震の被災地を視察し、実際に現地へ赴き、体験することで、防災に関する知見が深まった。また、語り部からの講和では避難所での様子や苦悩、災害時に大切なことなど、実際に被災した方の声を聞くことで、防災への意識が高まった。

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	多世代交流”みらい”プロジェクト 【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	<p><b>【目的】</b> 子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの活性化や、暮らしやすい”みらい”の地域づくりにつなげる。</p> <p><b>【概要】</b> コロナ禍において、例年実施しているイベント等が開催できないことから、子どもたちが考える区の現状や将来の姿をアンケートで把握し、今後の活動につなげる。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○江南区の将来に向けた中学生へのアンケート アンケート実施時期: 令和3年2月15日～25日 対象者: 区内公立中学校2年生約550名 手法: ギガスクール構想で配置されるiPadを用いてWebで回答 調査項目: ・学校名 ・性別 ・江南区が好きか ・江南区に住みやすいと思うか ・江南区に住み続けたいと思うか ・大人になっても江南区に住みたいと思うために、大事だと思うことは ・総合学習を除き、今までに参加したことがある活動は ・今後参加してみたい活動は ・江南区が全国的に有名になるには、どうしたらよいと思うか</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>○ギガスクール構想で配置されるiPadを用いてのアンケート調査は、初めてのことであったが、学校等との協力のおかげでスムーズに進めることができた。今回は中学2年生が対象であったが、高校生など対象を広げて実施してもよいと考える。</p> <p>○アンケート結果を自治協議会はもちろん、学校や地域の関係者に届けることで、それぞれの活動にも活用が期待できる。</p> <p>○アンケートはほぼ選択式であったが、自由記述については、iPad操作が慣れていない子どもは入力がしづらく、自分の考えを入力できない場合もあったと考える。今後はそういう子へのフォローも検討が必要である。</p> <p>○アンケート調査のお礼に江南区親善大使グッズを配布したことで、区や自治協議会のPRIにもつながった。</p>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	地域課題解決サポートプロジェクト 【事業費予算2,000千円】
事業目的・概要	<p>【目的】 人口減少対策に向けた各地域でのワークショップの結果を踏まえ、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取り組みを支援する。</p> <p>【概要】 ・区内のコミュニティ協議会を対象に、地域課題の解決やコミュニティの維持・向上につながる取り組みを提案してもらい、委託事業として実施する。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>◎曾野木地区コミュニティ協議会 事業名: 愛&amp;絆 そのき光のページェント 取組概要: ことぶき公園樹木を活用したイルミネーションの設置及びミニイベントの実施、コミ協ホームページの開設、SNS勉強会の実施 など</p> <p>◎両川地区コミュニティ協議会 事業名: 両川地区新たな移動手段構築に向けた社会実験 取組概要: タクシー車両を活用した高齢者の買い物支援及び交通・空白不便地域の解消、利用者アンケートの実施</p> <p>◎亀田小学校区コミュニティ協議会 事業名: 図書コーナーを地域住民の拠り所に 取組概要: 亀田地区コミュニティセンターホワイエに図書コーナーを設置するとともに、気軽に利用できる学習室・読書室を開設</p> <p>◎横越コミュニティ協議会 事業名: 円滑な地域運営のための調査 取組概要: 育成会や子ども会などの現状把握(自治会へのアンケート調査)、まちづくりに関する有識者指導のもと、勉強会や検討会を実施</p>
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	<p>○各地域で抱える課題に対して支援を行うことで、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上が図られた。</p> <p>○区内のコミュニティ協議会を対象としていたが、新型コロナウイルスの影響もあり、事業提案は半数に留まった。実施したコミ協の取組内容等も参考に、次年度はコロナ禍に配慮した中で、全てのコミ協から事業提案を出してもらえるよう働きかけを行う必要がある。</p> <p>○地域課題は、その地域の特性などにより様々であり、それら全てを特色ある区づくり事業(区役所企画事業)で対応することは困難なことから、本事業は今後も必要と考える。</p>
備考	